

連携先	会計システム	利用シーン	データ連携基盤	業種	不動産業
-----	--------	-------	---------	----	------



**ASTERIA Warpで会計システムの連携基盤を構築  
多様な業務パッケージとのシームレスな連携を実現**  
連携トラブルを解消し、連携運用コストを限りなくゼロへ！

**東急不動産ホールディングス株式会社**  
東京都港区南青山2-6-21 TK南青山ビル  
URL <http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/>  
従業員数 54名 (2017年4月1日現在)

## 導入背景

東急不動産ホールディングス株式会社は東急不動産、東急コミュニティー、東急リパブル、東急ハンズなどを傘下に抱えるホールディング会社。豊かで健やかな社会の実現に向け、ハコやモノの枠を超えてライフスタイルを創造・提案し、新たな価値を追求し続けている。同グループでは業種・業態の異なる様々なサービスを展開していることから、各事業会社・事業部門がそれぞれの業務に最も適したパッケージソフトを選定しシステムを構築して来た。またこれらのシステムと会計システムとの連携についても、連携の必要な部門が主導し手組みで開発していた。

## 課題

- **ユーザーの利便性向上**  
ユーザー利便性向上のため、会計システムで実施していた伝票入力処理をユーザー側の賃貸管理システムに移行。しかし、スケジュール時間内に連携処理が完了しないなどの事象が発生し断念。
- **システム間の同期トラブル**  
大量データを転送する仕訳処理などで不定期にトラブルが発生。原因究明や対処に都度手間がかかった。
- **各連携毎の責任範囲が不明瞭**  
連携先・連携元それぞれの責任範囲が不明瞭なためトラブル発生時の切り分け作業が難航。

## 導入

- **賃貸管理システムとの連携を再構築**  
賃貸管理システムと会計システム間の手組み連携をASTERIA Warpで再構築。社員1名で40本の連携処理を開発。
- **約30システムとの連携を再構築**  
会計システムリプレースのタイミングで、会計システムと連携する約30システムとの連携を再構築。6ヶ月で30プロジェクト、約200本の処理をASTERIA Warpで開発。
- **社内連携処理を一元管理**  
ASTERIA Warpで会計システムとの連携基盤を構築し、連携処理を一元管理。

## 効果

- **開発コスト削減**  
賃貸管理システム連携の再構築費用は、スクラッチ開発に比べ1/2以下の開発コストに。(ASTERIA Warp導入費用を含む)
- **連携トラブルを解消し、連携運用コストを削減**  
会計システムと連携する仕分け処理などで以前のような連携トラブルがなくなり、連携運用コストは実質ゼロに。
- **責任範囲の明確化**  
連携基盤の構築により、連携手法が統一され責任範囲が明確に。

## 利用イメージ

### ASTERIA Warp選定理由

- 多様なデータベース対応などコンポーネントの種類が多さ
- 導入の容易性
- フローデザイナーの使いやすさ
- 高いコストパフォーマンス
- 国内トップシェア

### 今後の予定

- システム間のデータ連携はASTERIA Warpを標準に
- 各業務システムとSharePointとの連携を検討
- スクラッチ開発しているActive DirectoryとのID連携の再構築をASTERIA Warpで検討
- 社員のASTERIA Warp開発スキル向上



## お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



ASTERIA Warpの信頼性、可用性をとて高く評価しています。万が一ASTERIA Warpが止まるとグループ全体の業務が停止してしまう程、ASTERIA Warpは重要なシステム連携を担っているのですが、同期間隔を短くしても運用トラブルなどが一切なく、おかげで安心して業務を遂行することができます。

グループマーケティングIT戦略部  
ITサービス企画グループ  
石橋 将義 様